

2014年(平成26年)1月20日(月曜日)



寡婦「みなし適用」を 控除

一人親家庭への支援要望

古屋
名議
党市

公明党名古屋市議団のほど、河村たかし市
(福田誠治団長)はこ一長に対し、「保育料お

よび市営住
宅家賃への
寡婦(寡夫)
控除のみな
し適用につ
いての要
望」を手渡
河村市長
(右から3
人目)に要
望書を手渡
す党名古屋
市議団

した。

寡婦(寡夫)控除は、
法律婚を経た配偶者と
死別・離婚した人を対
象に所得税などを控除
するもの。

席上、福田団長らは、
結婚していない男女の
間に生まれた子ども
(婚外子)の遺産相続
分を、結婚している両
親(法律上の夫婦)の
子ども(嫡出子)の半
分とした規定を削除し
た改正民法が、昨年12
月に成立したことを紹
介。

その上で、「民法上
の格差是正は行われた
が、保育料の算定など

に關わる所得税法や地
方税法での措置の見通
しは立っていない」と
指摘。「福祉、子育て
の分野で格差を生むべ
きではない」と強調し、
非婚の一人親家庭に対
する保育料と市営住宅
家賃の算定について、
「みなし適用」するよ
う求めた。

河村市長は、非婚の
一人親家庭への支援に
ついて「重要な観点だ
とした上で、担当部局
と連携し、検討してい
く考えを示した。

河村市長は、非婚の
一人親家庭への支援に
ついて「重要な観点だ
とした上で、担当部局
と連携し、検討してい
く考えを示した。